

ありがとう江差線

78年の歴史に幕

5月11日、JR江差線（本木内ー江差間）の最後の運行が行われました。

江差線は78年の長きにわたり、地域の交通手段として親しまれてきましたが、利用客の減少により昨年廃止が決定していました。

最終運行日となったこの日は、早朝から地域の方や鉄道ファンが各駅に詰めかけ、手を振ったりお手製の横断幕を掲げながら列車を見送りました。

湯ノ岱駅では12時24分到着の列車に合わせ、廃線セレモニーが執り行われ、本町のゆるキャラ「カミゴン」が一日駅長として登場したほか、地域を代表し

て湯ノ岱在住の川口リヨさんと青木夏子さんが湯ノ岱駅長と運転手に花束を手渡し、今までお世話になった江差線への感謝を伝えました。

また、上ノ国町ウォーキングクラブ（千場清保会長）では、早朝の神明駅を出発して、沿線を歩きながら列車を見送り、夕方に上ノ国駅に到着すると、集まった地域の方々や本町の郷土芸能「龍焰太鼓」の演奏とともに列車を迎えました。

この日は最終便まで通常通りの運行が行われ、最後の車両が通過する瞬間まで、多くの方が江差線との別れを惜しんでいました。



よってけ市大盛況

5月3日から5日までのゴールデンウィーク期間中、旅行者に上ノ国町の特産品を味わってもらおうと「よってけ市」が、道の駅もんじゅで開催され、今年のは1日の来場者数が昨年を上回るなど、3日間で約9400人の方が訪れ大盛況となりました。

会場では、特産品バーベキューやアワビが8割引になるアワビじゃんけん長い行列が出来ていました。

また、町内の生産者や事業者による特産品販売も人気だったほか、プレゼント企画も行われるなど、多くの方がよってけ市を楽しんでいました。

上ノ国町長選挙、無投票にて終わる



4期目となる
工藤 昇氏

5月20日、任期満了に伴う上ノ国町長選挙が告示され、現職の工藤昇氏（60歳）が、無投票で再選されました。

工藤氏は、平成14年の町長選挙で初当選し、平成18年、22年の再選に続いて、今回で4期目となります。

26日には、当選証書付与式が役場庁舎内で行われ、奥野選挙管理委員会委員長より工藤氏に当選証書が付与されました。

